

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 26 年度	学位名		修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名	孫 寧
指導教員氏名 大久保 正勝				
報告書題目				
消費税の逆進性と駆け込み需要に関する研究(消費税増税による駆け込み需要に関する研究)				
報告書概要				
<p>2014年4月に消費税率が5%から8%へ引き上げられた。この消費税の増税については、さまざまな議論がある。平成10年に公表された『経済財政白書』によると、「97年からの個人消費は、97年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要によって年初から3月にかけて大きく盛り上がった後、その反動減で4月から急に落ち込んだ。その反動で4～6月期は、民間最終消費支出が前期比5.3%減と大きく落ち込んだ。駆け込み需要は予想以上に大きかった」ことが指摘されている。このことから、97年4月の増税による消費支出の動きは、89年4月の消費税導入時にみられた駆け込み需要に比べて大きかったと言える。</p> <p>本章では、『家計調査』などを基に、2014年消費税増税の際に、耐久財と非耐久財に対する駆け込み需要が存在したことを確認し、品目別と世帯別でどのような違いがあるかを検証する。また、1997年の消費税増税による駆け込み需要と比較し、二回の増税の相違点を明らかにした。そして、財別、世帯別による駆け込み需要の相違の原因を解釈した上で、消費税の制度面への見解を提言する。</p>				
審査日 平成 27 年 01 月 26 日				
審査員 (大学名 職名) (学位) (氏名)				
主査 筑波大学 准教授 博士(理学) 原田 信行				
副査 筑波大学 准教授 博士(経済学) 桃田 朗				
副査 筑波大学 准教授 博士(経済学) 大久保 正勝				